

令和2年4月1日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する第36回希土類討論会の対応について
第一報

日本希土類学会 会員各位

拝啓 桜花爛漫の候、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は弊会事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在世界中で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が蔓延しており、WHOによるパンデミック宣言もなされております。我が国においても、爆発的な感染には至っておりませんが、日に日に感染者数が増加しており、複数の自治体で外出自粛要請が出ているなど、終息の目途も立たない状況であります。また、大学においては新学期開始時期の延期、企業においては出張等の禁止などの措置がとられている状況を踏まえ、第36回希土類討論会開催予定日の5月19日に、討論会参加者が安全・安心して札幌に集まれるかについて予断を許さない状況であります。

このような状況を鑑み、緊急の理事会を開催し、希土類討論会開催の可否について検討しました結果、参加者の安全を確実に確保することが困難であることから、第36回希土類討論会の開催を中止するとの決断に至りました。

また、討論会中止に伴い、以下のように対応させて頂きたく存じますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。なお、参加費等の取扱いにつきましては、近日中にお知らせいたします。

【討論会の成立と要旨集について】

すでに発表要旨が集まっていること、希土類関係研究の進捗状況を共有するとの観点から、当初の予定通り要旨集を希土類 No.76号として発行し、第36回希土類討論会自体は成立するものとする。

【総会・授賞式・受賞講演・特別講演】

総会について、要旨集送付（5月12日ごろを予定）時に同封の総会資料をご確認頂き、異議等がある場合は、事務局まで連絡頂く。なお、異議等が無い場合は、内容が認められたものと判断し、総会が成立したものとする。

授賞式・受賞講演・特別講演については、本年11月11日に開催予定の日本希土類学会第38回講演会の内容を変更して行う。

敬具

日本希土類学会
会長 今中信人
事務局長 田村真治